

SINCE 2002

第19回

秋山庄太郎 写真コンテスト NEWS

— グランプリ・特選・準特選 —

本コンテストは、秋山庄太郎による2002年の創始以来、写真芸術による福祉支援を理念としています。
グランプリ・特選 10作品は、秋山庄太郎作品とともに、福祉施設や福祉活動に携わっている団体などに寄贈されます。

グランプリ
(秋山庄太郎賞)



「濡れたネックレス」 泊り忠昭 (千葉県)

秋山 庄太郎 (あきやま・しょうたろう)

1920-2003

昭和・平成を代表する数多くの女優ポートレート撮影。「美しきをより美しく」、「アマチュア畏るべし」を信条とし、写真芸術としての「花」をライフワークとする。紫綬褒章・旭日小綬章受章。2002年、本コンテスト創始。



【審査講評】花の魅力を引き出す作品に。

今回は、全体にハイセンスな作品が多かった印象があります。また、高校生の応募が増え、フレッシュな風が吹き込まれたように感じました。

グランプリ「濡れたネックレス」は、花をネックレスに見立てた美的センスが光る作品です。水滴をいかし、しっとりとした紫色が印象的で、まるで美しく輝くアメジストのようです。

上位に入賞した作品は、プリントの質も高いものが多く見られました。一方、せっかくよく撮れているのに、色合いなど過剰な画像調整をしたために、花本来の持ち味を壊し、選外となってしまった作品も少なくありません。作品をプリントしたら、花の魅力を引き出す作品に仕上がっているかどうかなど、実際の花と見比べて確認してみるのもよいかもしれません。

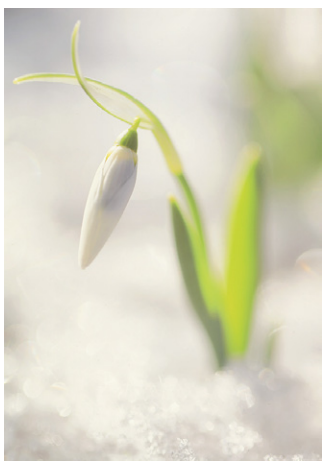
なお、タイトルが作品のイメージと合っていなかったり、誤字脱字のあるものが気になりました。タイトルは、作品を引き立たせるように付けることが望ましく、メッセージ欄も審査させていただくうえで参考になります。

今後も個性的ですてきな作品が増えていくことを期待しています。
秋山庄太郎「花」写真コンテスト審査委員会

特選



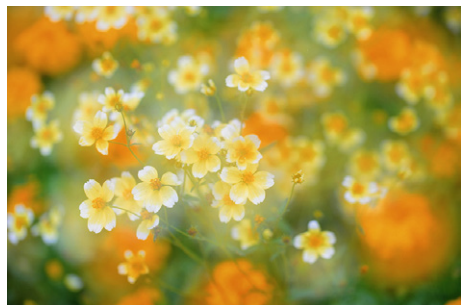
「想い」
高橋 一英 (宮城県)



「雪の精」
落合 俊哉 (東京都)



「ファミリー」
當麻 勝正 (東京都)



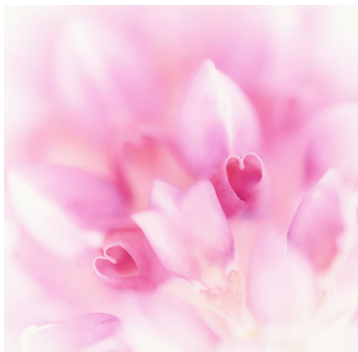
「夢の中へ」
佐藤 隆之 (神奈川県)



「棚田を彩る」
石倉 盛夫 (新潟県)



「素敵な花飾り」
山口 義文 (岐阜県)



「初恋」
羽根 和子 (三重県)



「煌めく命」
嶋田 住子 (滋賀県)



「恋する二人」
道士井 友子 (愛媛県)

〈主催〉

秋山庄太郎「花」写真コンテスト実行委員会

〈協賛〉

カメラのキタムラ、秋山庄太郎写真美術館
株式会社秋山写真工房、有限会社イマジン・アートプランニング、OMデジタルソリューションズ株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社スリーノーマン、ソニーマーケティング株式会社、株式会社第一印刷、株式会社ニコンイメージングジャパン、ハクバ写真産業株式会社、パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社、富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、リコーイメージング株式会社

〈後援〉

秋山庄太郎写真芸術協会、一般社団法人日本フォトコンテスト協会

〈運営協力〉

秋山庄太郎記念芸術文化振興協会

〈審査委員会〉

坂井田富三 (写真家)
館 弘美 (フォトアーティスト)
鹿島千香子 (フォトプロデューサー)
小林 健三 (グラフィックデザイナー)
嵐 三知男 (メディアプロデューサー)
齋藤 智志 (秋山庄太郎写真美術館主任学芸員)
上野 正人 (秋山庄太郎写真芸術協会)

〈実行委員会〉

佐藤 卓 (カメラのキタムラ)
中村由利子 (作曲家・ピアニスト)
小池 徹郎 (編集者)
高辻 謙正 (写真家)
大山 宏 (秋山庄太郎著作権等管理委員会)
秋山 啓佑 (秋山庄太郎メモリアルプロジェクト)

入賞作品展

入場無料

【会 期】2023年3月24日(金)～3月30日(木)

【会 場】「カメラのキタムラ 新宿 北村写真機店」
6F イベントスペース 所在地／東京都新宿区新宿 3-26-14

【時 間】10:00～21:00

【展示作品】グランプリ・特選・準特選 計50作品

※会場では、換気・消毒をはじめ新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みを行なっています。ご来場者様には、マスクの着用、館内設置のアルコール消毒液による手指消毒、混雑時の入場制限、体調がすぐれない場合のご来場の自粛、ソーシャルディスタンスへのご協力等をお願いしております。
※新型コロナウイルスの流行状況により予定を変更する場合があります。最新の情報は秋山庄太郎写真美術館ホームページ (<http://akiyama-shotaro.com/>) をご覧ください。

準特選



「静謐」
佐野 寛文（北海道）



「エゾアジサイ咲く」
嶋谷 暁子（北海道）



「川辺に咲く」
奈良 章太郎（北海道）



「出会いの朝」
深町 知博（北海道）



「菊花火」
藤川 章子（北海道）



「川面まで枝垂れて」
山内 則義（宮城県）



「天に響け」
齋藤 彰（山形県）



「盛夏」
津久井 玲子（栃木県）



「ひっそりと」
新井 賢太郎（埼玉県）



「仲良し」
久保 和子（埼玉県）



「溪流を彩る」
須藤 康男（埼玉県）



「優雅な時間」
住 由子（埼玉県）



「秋の訪れ」
小野 寺恵一（千葉県）



「手毬ブーケ」
桐山 登（千葉県）



「道端の共演」
阿部 雅彦（東京都）



「光を求めて」
北村 法子（東京都）



「主役は私」
平林 勝利（東京都）



「都会に咲く」
黒田 立夫（神奈川県）



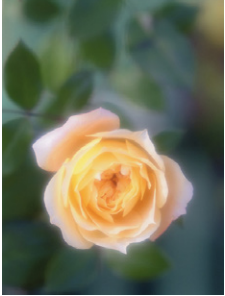
「夜明けの桜」
大久保 富美江（長野県）



「安曇野日和」
清水 清一（長野県）



「雨上がりの朝に」
丸山 幸夫（長野県）



「優美」
松下 恭代（静岡県）



「白くしなやかこでまり」
伊藤 秀夫（愛知県）



「終焉の美」
平野 美佐子（愛知県）



「風にゆられて」
城田 清延（三重県）



「春影」
高橋 宗尊（京都府）



「春光をうけて」
西本 正明（大阪府）



「濡れ髪」
和田 紗耶加（大阪府）



「ツインスター」
辻井 敏子（兵庫県）



「天高く」
光井 好生（奈良県）



「にわか雨」
児島 巧（島根県）



「優雅」
影山 和彦（岡山県）



「古木に咲く」
道城 謙治（岡山県）



「マンサク咲く」
難波 修治（岡山県）



「気品」
谷口 八十美（高知県）



「春風にゆれて」
大西 展子（福岡県）



「仲むつまじく」
矢頭 昭治（福岡県）



「ひっそりと可憐に」
竹上 政夫（大分県）



「キラキラ光を浴びて」
本村 智（鹿児島県）



「ハイビスカスのお出迎え」
長嶺 貴子（沖縄県）

入選

※作品は秋山庄太郎写真芸術館ホームページ（<http://akiyama-shotaro.com/>）でご覧いただけます

真鍋 文子（北海道）
佐藤 知子（宮城県）
阿部 直美（山形県）
齋藤 敏夫（福島県）
井上 舞子（茨城県）
川田 武男（栃木県）
木下 正夫（群馬県）
木村 一郎（群馬県）
武江 和恋（群馬県）
巻島 秀男（埼玉県）

松井 正純（埼玉県）
青木 有里（千葉県）
市川 正明（千葉県）
植松 護（千葉県）
溝田 一夫（千葉県）
大野 正子（東京都）
田所 俊一（東京都）
富永 賢（東京都）
中田 竜男（東京都）
西村 優香里（東京都）

柳川 卓哉（東京都）
山崎タキ子（東京都）
草薨 裕之（神奈川県）
坂巻 富志子（神奈川県）
滝澤 忠（新潟県）
前田 晃佑樹（新潟県）
渡辺 久子（新潟県）
太田 美津子（長野県）
古賀 さつき（長野県）
関川 秀孝（長野県）

江口 義文（岐阜県）
田中 郁司（岐阜県）
伊藤 洋子（静岡県）
鈴木 義徳（静岡県）
片岡 将（愛知県）
竹内 喜代美（三重県）
川口 重一（京都府）
久留米 敏仁（兵庫県）
上村 裕子（岡山県）
笹井 勝章（岡山県）

浅沼 美枝（広島県）
沖野 大樹（広島県）
重村 哲雄（山口県）
谷野 和恵（山口県）
吉良 恵子（高知県）
雪本 信彰（高知県）
永富 治子（福岡県）
中村 克実（福岡県）
南 義実（福岡県）
守田 宜昭（福岡県）

《第 18 回の作品寄贈について》

前回(第18回)の秋山庄太郎「花」写真コンテストのグランプリ・特選作品は、秋山庄太郎額装作品とともに、下記に寄贈させていただきます。

社会福祉法人 弘前豊徳会（青森県弘前市）
学校法人わかば学園（宮城県名取市）

実行委員会より

今回もレベルの高い作品が多く集まりました。ベテランのシニアの方々による洗練された作品の一方で、高校生の応募が増えたことで、新しい視点の作品に出会えたことを嬉しく思います。魅力的な作品をご応募いただき感謝申し上げます。

代表委員 佐藤 卓（カメラのキタムラ）

※各賞中の作者・審査委員・企業・団体等の敬称は略し、作品とも順不同で掲載させていただきます。

発行／秋山庄太郎「花」写真コンテスト実行委員会 ©
〒107-0062 東京都港区南青山 4-18-9 秋山庄太郎写真芸術館 気付 ☎ 03-3405-8578